



二本松市 議会議長 様

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に関わる陳情書

新型コロナの感染者が再び増えてきている状況にあります。議会、役所のみなさまが献身的で積極的な対応をしていただいていることで、県内の保育関係者は大変助けられており、心より感謝と敬意を表します。また、こうした状況下にも関わらず、保育行政にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大とともに、先の見えない大きな不安が県民の中に広がっています。子どもたちが育っていく環境の整備は、社会の存続発展にとって必要不可欠な課題です。社会をあげて、エッセンシャルワークとしての保育環境の整備と感染防止に取り組むべき時が来ております。つきましては下記の対策を早急にとっていただくことを陳情いたします。

1. 新型コロナウイルス禍で保育を継続して担っている保育所、学童保育等で働く全職員に慰労金を支給してください。

<理由>

緊急事態宣言以降も、社会を支える基盤のひとつとして保育所等には継続要請がなされ、衛生材の確保もままならない中、感染予防対策を徹底しつつ保育サービスを提供してきました。5月28日に閣議決定された第二次補正予算案において、介護・障害施設、救護施設等の全職員に新型コロナウイルス感染リスクのなかで、接触を伴うサービスを行っていることに対し、社会維持の必要不可欠な仕事として、慰労金支給が予算化されましたが、保育所、社会的養護関係施設等、児童福祉施設は慰労金の対象外とされました。

第二次補正予算を受けて、山形県や山口県、札幌市などでは、国の支給対象から外された保育所、学童保育などの職員に、独自施策として5万円を支給することになりました。また、園独自で慰労金支給をしているところも少なくありません。しかしそれには大きな限界があります。

利用者のいのちと健康を守る役割を果たし、感染への不安を感じながら緊張状態の中で保育を継続している保育所等の全職員へ慰労金が支給されるべきと考えます。

2. 保育所等で不足している人員確保の課題を、現場任せにせず、行政として責任を持って対応してください。

<理由>

保育所等においては、平常時においてさえギリギリの職員体制を強いられています。そのため、今回のような緊急時において様々な困難が生じています。感染予防にこれまで以上に業務が過多になっている中、一人でも職員が欠けたら対応できない状況にあります。他方、感染予防の面から言えば、体調不良の場合は即座に休暇を取るよう勧めています。こうした状態を長期にわたって継続することは誰が見ても不可能です。

子どもの命と豊かな成長を守り、子育て家族の生活を支える保育所等の機能の重要性を踏まえて、自治体独自に職員配置基準を引き上げ、人員確保の責任を果たすとともに制度の抜本的な改革をはかってください。

3. 保育関係職員が必要な時はいつでも PCR 検査が受けられるよう、検査体制を拡充してください。

- 1) 風邪症状のある保育園職員に対し、PCR 検査が直ちに行われるような仕組みをつくってください。
- 2) 保育園で働く職員が安心して仕事ができるよう、いつでも、どこでも、定期的に PCR 検査が受けられるような体制をつくってください。

<理由>

保育関係職員が熱や咳や臭覚異常のある職員が出たため、職業を告げ PCR 検査をやってくれるよう申し出たにもかかわらず、検査してもらえなかった事例や検査まで 10 日以上待たされた事例が全国から報告されています。またこうしたケースで、その後保育者の陽性が判明し、子どもたちも感染したという事例は各地でたくさん起きており、報道されています。私たちはそのことを最も恐れています。

去る 7 月 15 日、厚労省は事務連絡で、濃厚接触者以外にも「感染症にかかっていると疑うに足りる正当な理由」のある場合は行政検査の対象とし、広く検査を拡大するよう通知を出しました。しかしながら「感染症法に基づく行政検査」を前提としているため、風邪なのかどうか疑わしい場合は PCR 検査の対象になりません。仮に医師の判断で検査対象となった場合でも予約には時間がかかってしまうのが現状です。

このような状況は一刻も早く改善しなければならない課題であり、新型コロナ対策の根幹にかかわる問題です。最近では経済団体（日本商工会議所、東京商工会議所）、自治体（世田谷区など）、東京都医師会などから「いつでも、どこでも、だれでも、何回でも」検査ができる「社会的検査」体制をつくるべきだと要望が出され、新たな取り組みが始まりつつあります。

私たちは、保育者がいったん風邪症状などが出た場合、安全のため長期休暇を取るようになっています。しかし、秋以降にインフルエンザなどが流行すれば、保育体制はどのようになるのかとても心配です。

以上、上記について陳情いたします。

2020 年 8 月 20 日

団体名 福島県保育連絡会
代表者名 大宮 勇雄
住所

